

大里浩秋教授業績一覧（川崎真美作成、発表順）

【著作】

- ・（共著）小林一美・馬場毅・大里浩秋・孫江・並木頼寿著『秘密社会と国家』勁草書房、1995年
- ・（共編）小島晋治・大里浩秋・並木頼寿編著『20世紀の中国研究——その遺産をどう生かすか』研文出版、2001年
- ・（共編）大里浩秋・孫安石編『中国人日本留学史研究の現段階』御茶の水書房、2002年
- ・（共編）大里浩秋・孫安石編著『中国における日本租界——重慶・漢口・杭州・上海』御茶の水書房、2006年
- ・（共編）大里浩秋・孫安石編著『留学生派遣から見た近代日中関係史』御茶の水書房、2009年
- ・（共編）大里浩秋・貴志俊彦・孫安石編『中国・朝鮮における租界の歴史と建築遺産』御茶の水書房、2010年
- ・（共編）並木頼寿・大里浩秋・砂山幸雄編『近代中国・教科書と日本』研文出版、2010年
- ・（共著）村井寛志・張翔・大里浩秋・小林一美著『中国と日本——未来と歴史の対話への招待』（神奈川大学入門テキストシリーズ）御茶の水書房、2011年
- ・（共編・中国語）大里浩秋・孫安石編著『租界研究新動態』上海人民出版社、2011年
- ・（共編）大里浩秋・見城悌治・孫安石監修・編集『日中関係史資料叢書7 日華学報』全16巻、ゆまに書房、2012～2013年
- ・（単編）『戦後日本と中国・朝鮮——ブランゲ文庫を一つの手がかりとして』研文出版、2013年
- ・（共編）大里浩秋・李廷江編『辛亥革命とアジア——神奈川大学での辛亥100年シンポ報告集』御茶の水書房、2013年
- ・（共編・中国語）大里浩秋・孫安石編著『近現代中日留学生史研究新動態』上海人民出版社、2014年

【論文、論説等】

- ・（修士論文）『陶成章研究』1979年12月
- ・「論文『小城镇大問題』と費孝通のこと」『日中経済協会会報』1984年8月号
- ・「排満を叫んで駆け抜けた男の生涯——徐錫麟略伝」『中国研究月報』440号、1984年10月
- ・「排満を叫んで駆け抜けた男の生涯（続）——徐錫麟略伝」『中国研究月報』441号、1984年11月
- ・「日本人の見た秋瑾——秋瑾史実の若干の再検討」『中国研究月報』453号、1985年11月
- ・「張賢亮と『靈魂と肉体』〔含 作品〕」『中国研究月報』461号、1986年7月
- ・「日本人は中国の秘密結社をどう見たか」『現代中国』62号、1988年5月
- ・「福建石井、煙樓公伝承考察——明代における一日本人の民間交流」『中国研究月報』502号、1989年12月
- ・「天安門事件と中国」『神奈川大学評論』7号、1990年2月
- ・「光復会成立前後の事情——光復会論の（一）」『東洋文化研究所紀要』112冊、1990年3月
- ・「光復会前期の活動について——光復会論の（二）」『東洋文化研究所紀要』115冊、1991年3月
- ・「『横浜貿易新報』を通して見る在留中国人のありよう」『人文研究』112号、1992年3月
- ・「『浙江文化研究』初探」『中国研究月報』48巻6号、1994年6月（『中国における日本租界——重慶・漢口・杭州・上海』に再録）

- ・「秘密結社と辛亥革命」『しにか』1995年9月号
- ・「杭州『大井巷事件』の真相」『中日文化論叢 1994』1996年1月（「杭州『大井巷事件』の顛末」として神奈川大学人文学研究所編『日中文化論集——多様な角度からのアプローチ』勁草書房、2002年に再録）
- ・「『越鐸日報』創刊前後——民国元年春、紹興あれこれ（上）」『响沫集』9、1996年5月
- ・「在日中国人労働者、行商人」神奈川大学中国語学科編『中国民衆史への視座——神奈川大学中国語学科創設10周年記念論集』東方書店、1998年
- ・「日本の警察記録に見る戦前の横浜華僑団体の動向」（平成7年度横浜市研究助成報告書）1998年3月
- ・「石川伍一のこと」『人文研究』135号、1999年2月
- ・「中国は日本をどう見てきたか——中国研究所1999年研究大会『21世紀の日中関係——中・米のはざまで』」『中国研究月報』53巻11号、1999年11月
- ・「明治期から昭和20年までの日中文化交流に関する資料の収集と分析」（1998-2000、文部省科学研究費補助金研究成果報告書、基盤研究（B））
- ・「湖南と伍一」『湖南』20号、2000年3月
- ・「中国人の戦後すぐの日本観」『神奈川大学評論』36号、2000年7月
- ・「『官報』を読む」大里浩秋・孫安石編『中国人日本留学史研究の現段階』御茶の水書房、2002年
- ・「杭州日本租界について」『人文研究』149号、2003年6月（「杭州日本租界のたどった道」として『中国における日本租界——重慶・漢口・杭州・上海』に再録）
- ・「上海歴史研究所所蔵宗方小太郎資料について」『人文学研究所報』No. 37、2004年3月
- ・「漢口楽善堂の歴史（上）」（木山英雄教授退職記念号）『人文研究』155号、2005年3月
- ・「戦前の横浜中華学校での教科書問題」『中国研究月報』59巻4号、2005年4月
- ・「杭州に関わる二つのテーマ」『非文字資料研究』No. 8、2005年6月
- ・「袁偉時『近代化と歴史教科書』を読む」『中国研究月報』60巻5号、2006年5月
- ・「東アジアにおける『学』の連鎖——中華民国期の日中間の留学生派遣に関する比較研究」（2003-2005、文部科学省科研費補助金研究成果報告書、基盤研究（B））2007年3月
- ・「在華本邦補給生、第一種から第三種まで」（特集 中国人日本留学史，日本人中国留学史（2））『中国研究月報』61巻9号、2007年9月（『留学生派遣から見た近代日中関係史』に再録）
- ・「1936、37年教科書取り締まり事件」『中国研究月報』64巻1号、2010年1月（『近代中国・教科書と日本』に再録）
- ・大里浩秋・富井正憲「上海・青島における在華紡」大里浩秋・貴志俊彦・孫安石編『中国・朝鮮における租界の歴史と建築遺産』御茶の水書房、2010年
- ・「近代中国の小中学校における歴史教育概観」並木頼寿・大里浩秋・砂山幸雄編『近代中国・教科書と日本』研文出版、2010年
- ・「『日華学報』に見る『親日政権』下の教科書検定の動き」並木頼寿・大里浩秋・砂山幸雄編『近代中国・教科書と日本』研文出版、2010年
- ・「湖南と伍一・宗方小太郎の関係」『湖南』31号、32号、2010年3月、2011年3月
- ・「戦争終結直後の中国人は日本をどう見たか」村井寛志・張翔・大里浩秋・小林一美著『中国と日本——未来と歴史の対話への招待』（神奈川大学入門テキストシリーズ）御茶の水書房、2011年
- ・「租界研究の現状と展望（中国・韓国の旧日本租界——研究班の3年間）」『年報非文字資料研究』No. 7、2011年3月
- ・大里浩秋・川崎真美「明治～大正、神保町留学生地図」（特集 チャイナタウン神田神保町——

- 孫文、魯迅、周恩来——留学生からはじまった『東京人』26 (11)、2011 年 11 月
- ・「アジア主義者 宗方小太郎日記」武内房司編『日記に読む近代日本 5 アジアと日本』吉川弘文館、2012 年
- ・「日中国交正常化 40 年と尖閣問題に思うこと」『神奈川大学評論』75 号、2013 年 7 月
- ・「辛亥革命と宗方小太郎」大里浩秋・李廷江編著『辛亥革命とアジア——神奈川大学での辛亥 100 年シンポ報告集』御茶の水書房、2013 年
- ・「中国における日本租界の歴史」『年報非文字資料研究』No. 10、2014 年 3 月

【書評、紹介、新聞記事、その他】

- ・「広州に 3 年滞在して」『日中経済協会会報』58 年 7～11 月号、59 年 2～4、6 月号、1983 年 7～11 月、1984 年 2～4、6 月
- ・「広州に魯迅の影を追う」『魯迅の会報』7 号、1983 年 8 月
- ・「中国人学生に日本語を教えて」『中国語』84 年 1 月号、1984 年 1 月
- ・「書評『ルボ・中国 NOW』読売新聞中国取材団、読売新聞社刊、1984 年 2 月刊」『中国研究月報』435 号、1984 年 5 月
- ・「陶成章年譜（稿）」『老百姓の世界』2～4 号、1984～1986 年
- ・（訳）費孝通著、小島晋治ほか訳『中国農村の細密画——ある農村の記録 1936～82』研文出版、1985 年
- ・「広東の風土と料理」中山時子・陳舜臣監修『中国料理大全 3 広東料理』小学館、1985 年
- ・（訳）「徳王の証言」『歴史と人物』1985 年 3 月号、5 月号
- ・「思い出の中の藤堂先生」『中国研究月報』446 号、1985 年 4 月
- ・「書評『毛沢東』（小田実）」『中国語』1985 年 5 月号
- ・「深圳・広州新中国風俗紀行」『中央公論』100 (6)、中央公論社、1985 年 6 月
- ・「広東省概況」中国研究所編『中国年鑑』1986 年版付録、大修館書店、1986 年
- ・「白樺作品一覧」『中国研究月報』465 号、1986 年 11 月
- ・「詩人・作家の白樺氏に聞く」『中国研究月報』465 号、1986 年 11 月
- ・「白樺氏インタビュー前後」『中国研究月報』465 号、1986 年 11 月
- ・（訳）張辛欣・桑曄著、大里浩秋ほか訳『金は天から降ってこない——フツー人の中国』平凡社、1987 年
- ・「書評『藤堂明保 中国へかける橋Ⅱ』」『国際貿易』1987 年 4 月 14 日号
- ・（解説・訳）方励之著「日本人の潜在的戦争観について（嵐山に遊びし後に記す、補記）」『中央公論』102 (10)、1987 年 8 月
- ・（訳・まえがき）馮驥才「100 人の 10 年」『季刊中国研究』8 号、1987 年 9 月
- ・（訳）費孝通著、大里浩秋・並木頼寿訳『江南農村の工業化——“小城镇”建設の記録 1983～1984』研文出版、1988 年
- ・（訳）胡国枢著「浙江で徐錫麟・秋瑾殉難 80 年を盛大に記念す（中国からの報告）」『中国研究月報』480 号、1988 年 2 月
- ・「福建で煙楼公の祭りを見て思う」『中国研究月報』484 号、1988 年 6 月
- ・「読み応えある秋瑾資料集」（郭延礼編『秋瑾研究資料』）『鄺其山』21 号、1988 年 9 月
- ・「胡耀邦氏の死に思う」『中国研究月報』494 号、1989 年 4 月
- ・「電視連続劇『宋代皇帝』の 22 時間」『中央公論』104 (6)、1989 年 6 月
- ・「壁新聞に見る学生の民主化への希求」『中国研究月報』496 号、1989 年 6 月
- ・「壁新聞にみる中国民主化への波」『中央公論』104 (7)、1989 年 7 月
- ・（訳・まえがき）「『趙紫陽が鄧小平に挑戦した』——『民主中国』創刊号（89.7）より転載他」

- ・(〈特集〉'89年中国民主化運動)『中国研究月報』497号、1989年7月
- ・(訳) 任余白「日本の大陸浪人の孫中山に対する援助」『中国図書』1989年12月号～1990年2月号
- ・「書評『ビートルズを知らなかった紅衛兵——中国革命のなかの一家の記録』」(唐亜明著)『神奈川大学評論』8号、1990年8月
- ・(抄訳) 桑逢康「渡米華人さまざま」『季刊中国研究』18号、1990年10月
- ・「広東経済開発区を垣間見て」『中国研究月報』45巻9号、1991年9月
- ・「広東、湖南の旅印象記」『中国研究月報』46巻9号、1992年9月
- ・「書評『現代中国知識人批判』」(劉曉波著・野澤俊敬訳)『図書新聞』1992年12月12日
- ・(訳) 張賢亮著『土牢情話』日本アジア文学協会発行、めこん発売、1993年
- ・「ある日本人観を読んで思うこと」『中国研究月報』47巻7号、1993年7月
- ・「書評『現代中国の輪郭』」(藤井省三著)『週刊読書人』1993年7月12日号
- ・「『中国大陸黒社会』を読む」『中国研究月報』48巻3号、1994年3月
- ・「『華人與狗不得入内』はなかった」余波『中国研究月報』48巻12号、1994年12月
- ・「秋瑾」『しにか』1995年3月号
- ・(抄訳・解題) 張賢亮「煩惱は知恵なり」『aala』95年I号、1995年4月
- ・「〈書評〉山根幸夫著『近代中国のなかの日本人』(研文出版)、1994年11月刊」『中国研究月報』49巻6号、1995年6月
- ・「張賢亮『なぜ私は日本商品を買わないのか』を読んで」(〈小特集〉戦後50年をめぐる)『中国研究月報』49巻12号、1995年12月
- ・「中研書庫を覗く(その2)——戦前の日本文雑誌」『中国研究月報』50巻9号、1996年9月
- ・「中研書庫を覗く—3—戦前の中文雑誌」『中国研究月報』50巻10号、1996年10月
- ・「中研書庫を覗く『戦後、70年までの日文雑誌』」『中国研究月報』50巻11号、1996年11月
- ・「中研書庫を覗く——戦後、60年までの中文雑誌(その1)」『中国研究月報』50巻12号、1996年12月
- ・「湖南生誕130周年」『中国研究月報』50巻12号、1996年12月
- ・「中研書庫を覗く——戦後、60年までの中文雑誌(その2)」『中国研究月報』51巻1号、1997年1月
- ・(共著)「清末浙江留日学生名冊」『中日文化論叢 1996』1997年12月
- ・「広州で教え子と再会して」『旅ニュース』(21世紀旅行社)No. 221、2000年1月
- ・「6.30花岡慰霊式に参加して」『中国研究月報』55巻7号、2001年7月
- ・野田正彰・石坂浩一・大里浩秋「座談会 アジア 記憶から未来へ」(特集 アジア 記憶から未来へ)『神奈川大学評論』39号、2001年7月
- ・「清国游学日本学生監督処発行『官報』目次」大里浩秋・孫安石編『中国人日本留学史研究の現段階』御茶の水書房、2002年
- ・「中日間の近代歴史を愛でる人」『上海ウォーカー』No. 45、2003年3月
- ・「上海の片隅に暮して」『中国研究月報』57巻6号、2003年6月
- ・「まえがき(〈特集1〉日・中関係100年を問う～21世紀を見据えて：中国語学科創設10周年(1997年)記念シンポジウム)」『人文研究』149号、2003年6月
- ・曹振威・大里浩秋・孫安石・田畑光永「座談会 歴史問題と日中関係の現在」『神奈川大学評論』46号、2003年11月
- ・「書評『黄土の村の性暴力——大娘たちの戦争は終わらない』」(石田米子・内田知行編著)『神奈川大学評論』48号、2004年7月
- ・「書評と紹介 陳捷著『明治前期日中学術交流の研究』」『日本歴史』679号、2004年12月

- ・「動向・文化 概観」中国研究所編『中国年鑑』2005～2014年版（2005～2007年版：創土社発行、2008～2014年版：中国研究所発行、毎日新聞社発売）
- ・『日華学報』目次『人文学研究所報』No. 38、2005年3月（加筆のうえ「日華学会と『日華学報』」として『留学生派遣から見た近代日中関係史』に再録）
- ・「中国人の歴史認識」『神奈川大学評論』52号、2005年12月
- ・「同仁会と『同仁』」『人文学研究所報』No. 39、2006年3月（『留学生派遣から見た近代日中関係史』に再録）
- ・「宗方小太郎日記、明治22～25年」『人文学研究所報』No. 40、2007年3月
- ・「宗方小太郎日記、明治26～29年」『人文学研究所報』No. 41、2008年3月
- ・「皖浙起義100周年記念討論会に参加して」『中国研究月報』62巻7号、2008年7月
- ・「恭仁山荘見学記」『東アジア文化交渉研究別冊 3』2008年12月
- ・『留東学報』目次「大里浩秋・孫安石編著『留学生派遣から見た近代日中関係史』御茶の水書房、2009年
- ・「並木頼寿さんを追悼する」『中国研究月報』63巻8号、2009年8月
- ・（監訳）陳祖恩著『上海に生きた日本人——幕末から敗戦まで』大修館書店、2010年
- ・（訳）陳祖恩著「上海日本人社会における『文明開化』運動」大里浩秋・貴志俊彦・孫安石編『中国・朝鮮における租界の歴史と建築遺産』御茶の水書房、2010年
- ・横堀克己・麻生晴一郎・大里浩秋「巻頭座談会 中国社会の表層と深層——グローバル世界のなかで」『神奈川大学評論』67号、2010年11月
- ・「宗方小太郎日記、明治30～31年」『人文学研究所報』No. 44、2010年12月
- ・「ネットワーク形成と中国非物質文化遺産研究（基幹共同研究「神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター」ネットワーク形成研究班の研究経過と成果）」『非文字資料研究』No. 7、2011年3月
- ・「共同研究奨励金グループ活動報告『戦後、とくにGHQ 占領期における在日華僑、在日朝鮮人の生活空間を明らかにする——横浜市・神奈川県内の動きを中心に』」『人文学研究所報』No. 45、2011年3月、No. 47、2012年3月
- ・「宗方小太郎日記、明治32～33年」『人文学研究所報』No. 46、2011年10月
- ・「宗方小太郎日記、明治34～35年」『人文学研究所報』No. 47、2012年3月
- ・「『辛亥革命100周年記念シンポジウム』を実施して（辛亥革命とアジア：辛亥革命100周年記念シンポジウム）」『神奈川大学評論』71号、2012年3月
- ・「宗方小太郎日記、明治36～38年」『人文学研究所報』No. 48、2012年8月
- ・「宗方小太郎日記、明治39～40年」『人文学研究所報』No. 49、2013年3月
- ・「宗方小太郎日記、明治41～42年」『人文学研究所報』No. 50、2013年8月
- ・「人文学会60周年に想うこと」（人文学会創設60周年記念号）『人文研究』182号、2014年3月
- ・「広州でのシンポジウムの報告と雑感」『中国研究月報』68巻7号、2014年7月
- ・「宗方小太郎日記、明治43～44年」『人文学研究所報』No. 52、2014年8月
- ・「インタビュー 敗戦前後の留日学生受け入れ事情など——石田一郎氏に聞く」『中国研究月報』68巻10号、2014年10月